2026年6月24日

各　位

会　　社　　名　ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
代　表　者　名　代表取締役社長 CEO　　吉　村　　修　一
（コード番号：336A　東証グロース市場）
問　合　せ　先　　執　行　役　員　　猪　俣　　光　俊
（TEL. 03-6459-3445）

ダイナミックマッププラットフォーム、北米交通当局向け橋梁・トンネル管理ソリューションを提供開始

～モビリティ向けに整備してきた高精度3次元データをインフラ管理分野へ展開～

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」）は、米国およびカナダでモビリティ向けに整備してきた高精度3次元データを活用し、北米の交通当局向けに、橋梁・トンネルのクリアランス(高さ制限)情報の整備・管理を支援するソリューションの提供を開始したことをお知らせします。



橋梁・トンネルの高精度3次元データイメージ

米国では橋梁への車両衝突事故が年間約15,000件発生しており※、橋梁やトンネルのクリアランス(高さ制限)情報を正確に把握・更新することが重要な課題となっています。また、道路の再舗装後には通行可能高さが数インチ低下する場合もあり、継続的な情報更新が不可欠です。こうした状況に加え、米国の州交通当局では制度改定などにより橋梁情報の管理高度化が進んでおり、クリアランス情報を含む詳細データの整備ニーズが高まっています。

従来の計測手法では、現地での測量や交通規制、車線閉鎖などを伴う場合があり、安全面やコスト面での課題があります。しかし当社はMMS(モービルマッピングシステム)と呼ばれる高度な計測機器を搭載した専用車両により、交通への影響を抑えながら高精度な3次元データを取得できます。

さらに、当社は米国 48 州およびカナダ全土において約 150 万 km の道路データを整備しており、その中には約 25 万件の橋梁・高架構造物および約 2,000 件のトンネルの情報が含まれています。こうした大規模な既存データ資産を活用することで、橋梁・トンネルのクリアランス情報の効率的な整備・更新を支援します。

また、当社の高精度 3 次元データは SNBI(Specification for the National Bridge Inventory: 米国の橋梁管理に関する基準)に対応した形式で提供可能です。さらに、GIS や 3D データ管理プラットフォームなど既存の運用環境との連携にも対応しており、橋梁資産管理業務への活用を支援します。

本ソリューションの詳細については、以下をご覧ください。

- 橋梁・トンネル管理ソリューション紹介ページ(英語): https://dmp-maps.com/assets-for-dot/

当社はこれまで、自動運転や先進運転支援システム(ADAS)向けの高精度 3 次元データ整備を通じて、北米全域で大規模な道路データを蓄積してきました。今回の取り組みは、そうしたモビリティ分野向けデータ資産をインフラ管理分野へ展開するものです。

本ソリューションはまず北米市場向けに提供を開始しましたが、同様の技術や知見は日本国内のインフラ管理分野にも応用可能であり、国内における活用可能性についても検討を進めています。

なお当社は、2026 年 6 月に米国デトロイトで開催された「ITS America Conference & Expo 2026」において本ソリューションを紹介し、米国・州交通当局をはじめとする来場者と意見交換を行いました。

- 関連リリース: 「(お知らせ)ダイナミックマッププラットフォーム、『ITS America Conference & Expo 2026』に出展」(2026 年 6 月 23 日)
  https://www.dynamic-maps.co.jp/news/news-1677/

当社は今後も、高精度 3 次元データの整備・活用を通じてモビリティ分野の高度化に取り組むとともに、橋梁・トンネル管理をはじめとするインフラ管理分野での活用拡大を進め、安全かつ効率的な社会基盤の実現に貢献してまいります。

■本件に関する問い合わせ
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
メール：ir@dynamic-maps.co.jp
HP：https://www.dynamic-maps.co.jp/